

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2003-040380

(43)Date of publication of application : 13.02.2003

(51)Int.Cl.

B65D 85/57

G11B 23/03

(21)Application number : 2001-234897 (71)Applicant : OBANA NORIO

(22)Date of filing : 02.08.2001 (72)Inventor : OBANA NORIO

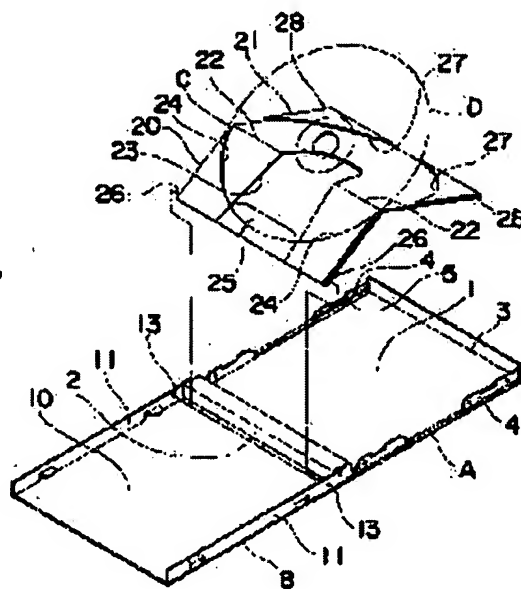
(54) STORING CASE FOR DISCOID RECORDING CARRIER

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an economic storing case in which a front plate and a stored item are oscillated through oscillation of a case lid, the stored item can be easily held, its taking-out operation can be easily performed, the stored item and the front plate are easily held, its storing operation can be easily performed, loading-in or unloading of the stored item can be smoothly performed, its handling is easily carried out, its configuration is simple, it is suitable for a mass production, it can be easily assembled, its price is low, and it shows a superior durability.

SOLUTION: A holding plate C pivotally installed at one end of a case lid member B of a case main body is comprised of a front plate 20, a rear plate 21 and a hinge

22. The front plate 20 capable of holding the stored item is related to an oscillating operation of the case lid B. When the front plate 20 is oscillated in such a way that the other end is moved away from a case base A, the rear plate 21 is oscillated in a bent form against the front plate 20, and the rear plate 21 is moved away from the other end of the stored item held at the front plate 20.



LEGAL STATUS

THIS PAGE BLANK (USPTO)

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

THIS PAGE BLANK (USPTO)

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2003-40380
(P2003-40380A)

(43) 公開日 平成15年2月13日 (2003.2.13)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テームコード* (参考)
B 6 5 D 85/57		B 6 5 D 85/57	C 3 E 0 3 6
G 1 1 B 23/03	6 0 1	G 1 1 B 23/03	6 0 1 C

審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 9 頁)

(21) 出願番号 特願2001-234897(P2001-234897)

(22) 出願日 平成13年8月2日(2001.8.2)

(71) 出願人 595099074

小花 紀夫

東京都葛飾区東水元 5-37-2

(72) 発明者 小花 紀夫

東京都葛飾区東水元 5-37-2

(74) 代理人 100066223

弁理士 中村 政美

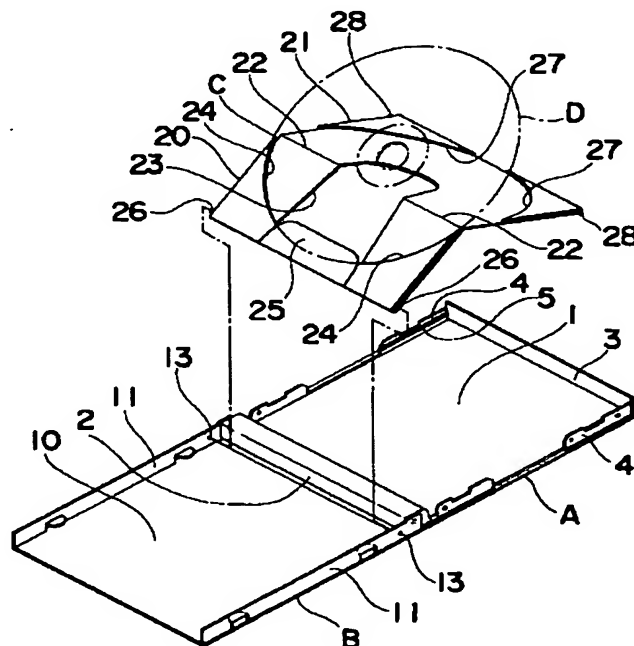
Fターム(参考) 3E036 AA06 AA07 AA08 EA10 FA01

(54) 【発明の名称】 ディスク状記録担体用収納ケース

(57) 【要約】

【課題】 ケース蓋体の揺動で、前部プレートと収納物が揺動し、収納物を掴み易く、その取出しが簡単に行え、収納物を前部プレートに保持させ易く、その収納が簡単に行え、収納物の出し入れがスムーズに行え、取扱い易く、使い勝手に優れ、構成簡素で、量産に適し、製造し易く、組立て容易で、低廉で、耐久性に優れ、経済的な収納ケースを提供する。

【解決手段】 ケース本体のケース蓋体Bの一端がわに揺動自在に装着する保持プレートCは、前部プレート20と、後部プレート21と、ヒンジ部22とを備え、収納物を保持できる前部プレート20は、ケース蓋体Bの揺動動作に連繋し、他端がわがケース基盤Aから離れるよう前部プレート20が揺動すると、後部プレート21が前部プレート20に対して屈曲状に揺動して、前部プレート20に保持している収納物の他端がわから後部プレート21が離れるよう構成する。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ディスク状記録担体等の比較的薄い収納物を収納可能な収納ケースであって、上部が開放されている略浅底容器状に形成されるケース基盤と、このケース基盤の一端がわに適宜枢支手段を介して揺動自在に装着されると共に、その揺動動作によってケース基盤の開放部分を施蓋可能となるよう形成されるケース蓋体とでケース本体を構成し、このケース本体内に収納可能となると共に収納物を保持可能となるよう形成される保持プレートと、適宜枢支手段を介してケース蓋体の一端がわに揺動自在に装着し、保持プレートは、一端がわの前部プレートと、他端がわの後部プレートと、前部プレートと後部プレートを折曲げ自在に連設するヒンジ部とを備え、前部プレートは、収納物を保持できるように形成され、ケース基盤に対するケース蓋体の揺動動作に連繋して、保持プレート全体が一端がわに移動した後、その他端がわがケース基盤から離れるように前部プレートが揺動すると共に、後部プレートが前部プレートに対して屈曲状に揺動して、前部プレートに保持されている収納物の他端がわから後部プレートが離れるように構成したことを特徴とするディスク状記録担体用収納ケース。

【請求項 2】 保持プレートの後部プレート of 左右側縁にガイド突起を夫々突設し、このガイド突起が移動可能となるガイド溝をケース基盤 A の左右側片に設けたことを特徴とする請求項 1 記載のディスク状記録担体用収納ケース。

【請求項 3】 保持プレートの前部プレートと後部プレートの表面に収納物の外周縁に当接する段部を形成し、前部プレート of 一端がわ中央に、収納物の表面に当接する押え片を突設したことを特徴とする請求項 1 または請求項 2 記載のディスク状記録担体用収納ケース。

【請求項 4】 保持プレートの後部プレート of 表面に収納物のセンター孔内に収まるような中央突部を突設したことを特徴とする請求項 1 または請求項 2 または請求項 3 記載のディスク状記録担体用収納ケース。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、主に、CD や、CD-ROM や、DVD や、その他、ディスク状の記録担体等の如く比較的薄く形成されている適宜収納物を確実に収納できると共に、これら適宜収納物の出入れがより簡単に且つスムーズに行え、その取扱いがより容易に行えるように工夫したディスク状記録担体用収納ケースに関するものである。

【0002】

【従来の技術】 従来、ディスク状の記録担体等の如く比較的薄く形成されている適宜収納物を収容しておける収納ケースとしては、例えば、適宜袋状のポケット部の開口部分に蓋片を設けた収納体等があり、これは、適宜保護袋に収納した収納物を開口部から適宜ポケット内に入

れ、この開口部を蓋片で閉じておけるように構成されている。また、記録担体のセンター孔部分を支持するキャッチ部が中央に配されている略浅い矩形箱状の透明な合成樹脂製箱本体を形成し、この箱本体と略同程度の大きさの透明な合成樹脂製蓋体を、箱本体に揺動自在に装着した収納ケース等が提供されている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 ところが、前者のような収納ケースにあつては、収納物の取出しや、収納物の収納が意外と面倒であつた。特に、蓋片が収納物の取出しや収納物の収納の邪魔になる等の難点があつた。また、後者のような収納ケースにあつても、蓋体を開いた後に、キャッチ部から記録担体を取外さなければならず、その取出しや、収納が面倒であつた。

【0004】

【課題を解決するための手段】 そこで、本発明は、前述の如き難点等を解消できるようにすると共に、収納物の出入れがより容易に、確実に、且つスムーズに行え、取扱いが容易で、使い勝手に優れ、また、収納物が見え易くなるように展示することも可能となり、しかも、構成が簡素で、製造し易く、組立て容易で、量産に適し、耐久性に優れ、経済的なディスク状記録担体用収納ケースを提供すべく創出されたものである。しかして、請求項 1 記載の収納ケースにあつては、ディスク状記録担体 D 等の比較的薄い収納物を収納可能な収納ケースであつて、上部が開放されている略浅底容器状に形成されるケース基盤 A と、このケース基盤 A の一端がわに適宜枢支手段を介して揺動自在に装着されると共に、その揺動動作によってケース基盤 A の開放部分を施蓋可能となるよう形成されるケース蓋体 B とでケース本体を構成し、このケース本体内に収納可能となると共に収納物を保持可能となるよう形成される保持プレート C を、適宜枢支手段を介してケース蓋体 B の一端がわに揺動自在に装着し、保持プレート C は、一端がわの前部プレート 20 と、他端がわの後部プレート 21 と、前部プレート 20 と後部プレート 21 を折曲げ自在に連設するヒンジ部 22 とを備え、前部プレート 20 は、収納物を保持できるように形成され、ケース基盤 A に対するケース蓋体 B の揺動動作に連繋して、保持プレート C 全体が一端がわに移動した後、その他端がわがケース基盤 A から離れるように前部プレート 20 が揺動すると共に、後部プレート 21 が前部プレート 20 に対して屈曲状に揺動して、前部プレート 20 に保持されている収納物の他端がわから後部プレート 21 が離れるように構成する手段を採用した。

【0005】 また、請求項 2 記載の収納ケースにあつては、保持プレート C の後部プレート 21 の左右側縁にガイド突起 28 を夫々突設し、このガイド突起 28 が移動可能となるガイド溝 5 をケース基盤 A の左右側片 4 に設ける手段を採用した。

【0006】更に、請求項3記載の収納ケースにあっては、保持プレートCの前部プレート20と後部プレート21の表面に収納物の外周縁に当接する段部24、27を形成し、前部プレート20の一端がわ中央に、収納物の表面に当接する押え片25を突設する手段を採用した。

【0007】そして、請求項4記載の収納ケースにあっては、保持プレートCの後部プレート21の表面に収納物のセンター孔内に収まるような中央突部31を突設する手段を採用した。

【0008】

【発明の実施の形態】以下、本発明を図示例に基づいて説明する。本発明は、主に、CD、CD-ROM、DVD等の記録担体Dや、その他、ディスク状の記録担体D等のように比較的薄く形成されている適宜収納物を確実に収納できると共に、適宜収納物の出入れがより簡単に且つスムーズに行えるように構成したディスク状記録担体用収納ケースである。尚、本発明の収納ケースに収納される適宜収納物には、ディスク状でないものや、記録担体Dでないものも含まれる。

【0009】そして、本発明の収納ケースは、例えば、上部が開放されている略浅底容器状に形成される透明な（或いは、半透明な、或いは、一部が透明或いは半透明な）適宜合成樹脂製のケース基盤Aと、このケース基盤Aの一端がわに適宜枢支手段を介して揺動自在に装着されると共に、その揺動動作によってケース基盤Aの開放部分を施蓋可能となるよう形成される透明な（或いは、半透明な、或いは、一部が透明或いは半透明な）適宜合成樹脂製のケース蓋体Bとでケース本体を構成し、更に、このケース本体内に収納可能となると共に、収納物を保持可能となるような適宜合成樹脂製の保持プレートCを、適宜枢支手段を介してケース蓋体Bの一端がわに揺動自在に装着したものである。

【0010】しかも、前記保持プレートCは、一端がわの前部プレート20と、他端がわの後部プレート21と、前部プレート20と後部プレート21を折曲げ自在に連設する適宜ヒンジ部22とを備え、前記前部プレート20は、収納物を保持できるように形成され、更に、ケース基盤Aに対するケース蓋体Bの揺動動作に連繋して、保持プレートC全体が一端がわに僅かに移動した後、前片2上部に当接する部分が支点となって、その他端がわがケース基盤Aから離れるように前部プレート20及び収納物が揺動すると共に、後部プレート21が前部プレート20に対して屈曲状に揺動して（後部プレート21の一端がわがケース基盤Aから上方に向かって離れるように揺動して）、前部プレート20に保持されている収納物の他端がわから後部プレート21が離れるように構成されている。すなわち、収納物の他端がわ部分が斜上方に突出するようになって、これを手指によって掴み易くなり、収納物の取出しや、保持が容易に行えるよ

うに構成されている（図3、図8参照）。

【0011】前記ケース基盤Aは、例えば、記録担体Dが収まるような寸法の略矩形板状の底板1と、この底板1の一端縁に立設される断面略逆L字状の前片2と、底板1の他端縁に立設される略細長帯板状の後片3と、底板1の左右側縁に夫々立設される略細長帯板状の左右側片4とで、上部が開放されている略浅底容器状に一体的に構成されている。尚、左右側片4は、その中央部分を切欠するように形成しても良い。

10 【0012】更に、左右側片4の一端がわ部分には、ケース蓋体Bを揺動自在に装着するための枢支手段となる小円孔状の軸孔6が夫々穿設され、左右側片4の他端がわ内側面部分には、後述する保持プレートCのガイド突起28をスムーズに案内できるようにしたガイド溝5が夫々設けられている。すなわち、ガイド溝5は、保持プレートCのガイド突起28が上方に浮き上がらないようにして、保持プレートCの後部プレート21が前部プレート20に対して確実に屈曲状に揺動するように設けられたものである。尚、ガイド溝5の他端部に、上方開放部を設けて、ガイド突起28がガイド溝5上方に移動できるように形成しても良い。すなわち、ガイド突起28がガイド溝5から一旦逸脱したような場合に、簡単にガイド突起28をガイド溝5内に收容できるようにしたり、或いは、保持プレートCの下方に収納物に関連するような解説書や、適宜カード等を收容できるようにしたとき等に、保持プレートCの他端がわを容易に上方に揺動させて、解説書や、適宜カード等を簡単に出し入れできるように形成してあっても良い。

20 【0013】また、左右側片4の他端寄り部分には、ケース蓋体Bの係止突起が係脱自在に係止される略小円状の係止孔が夫々穿設されており、係止突起が係止孔に係止されているときには、ケース蓋体Bによるケース基盤Aの施蓋状態をある程度維持できるように構成されている（図示せず）。

30 【0014】前記ケース蓋体Bは、例えば、ケース基盤Aの開放部分を覆えるような寸法の略矩形板状の天板10と、この天板10の左右側縁に夫々垂設される略細長帯板状の左右側片11とで、略浅溝形状に一体的に構成されている。そして、左右側片11の一端部分には、ケース蓋体Bをケース基盤Aに揺動自在に装着するための枢支手段となる略短小円柱状の軸突起12が夫々突設されており、この軸突起12が前記ケース基盤Aの軸孔6に差込み装着できるように構成されている。尚、ケース基盤Aとケース蓋体Bの枢支手段は、略短小円柱状の軸突起をケース基盤Aに設け、小円孔状の軸孔をケース蓋体Bに設けるようにしても良いし、その他、適宜手段を採用できるものである。

40 【0015】更に、左右側片11の一端寄り部分には、後述する保持プレートCに突設した軸突起26に係止される小円孔状の軸孔13が夫々穿設されている。加え

て、左右側片 11 の他端寄り部分には、前記ケース基盤 A の係止孔に係脱自在に係止される略小円状の係止突起が夫々突設されている。また、左右側片 11 の内側面には、略半円状の係止突片が複数突設されており、この係止突片を利用して、記録担体 D に関連する解説書や歌詞カード類等を天板 10 裏面に保持できるように形成してある。

【0016】前記保持プレート C は、例えば、記録担体 D 等の収納物の略半分以下程度の大きさとなる略矩形板状の前部プレート 20 と、この前部プレート 20 の他端縁にヒンジ部 22 を介して揺動自在に連設される略矩形板状の後部プレート 21 とを適宜合成樹脂材によって一体的に構成したものである。尚、前記ヒンジ部 22 は、前部プレート 20 と後部プレート 21 が面一な状態から、後部プレート 21 が前部プレート 20 に対して重力等によって下向きにのみ揺動するように構成されている。

【0017】それから、前部プレート 20 の一端がわ左右表面と後部プレート 21 の他端がわ左右表面には、収納物の外周縁に当接する略円弧状の段部 24、27 が設けられ、前部プレート 20 の中央部分及び後部プレート 21 の一端がわ中央部分に跨るように略舌片状の切欠部 23 が切設され、前部プレート 20 の一端がわ中央には、収納物の表面に当接するような押え片 25 が突設されている。

【0018】また、前部プレート 20 の一端の左右側縁には、保持プレート C をケース蓋体 B に揺動自在に装着するための枢支手段となる略短小円柱状の軸突起 26 が突設され、この軸突起 26 がケース蓋体 B の軸孔 13 に軸支されるように形成されている。尚、保持プレート C とケース蓋体 B の枢支手段は、略短小円柱状の軸突起をケース蓋体 B に設け、小円孔状の軸孔を保持プレート C に設けるようにしても良いし、その他、適宜手段を採用できるものである。

【0019】更に、後部プレート 21 の他端の左右側縁にはケース基盤 A のガイド溝 5 内を移動する略短小円柱状のガイド突起 28 が突設されている（図 1、図 4 参照）。ところで、保持プレート C の表面には、収納物を保護するような不織布等の適宜保護布等を貼着しておいても良い（図示せず）。しかも、前部プレート 20 及び後部プレート 21 の段部 24、27 は、前部プレート 20 や後部プレート 21 の表面がわに突出するような小突起であっても良い。

【0020】また、後部プレート 21 は、図 5 に示すようにその後端がわ部分を取除いたような短い矩形状に形成したものでも良い。尚、このとき、後部プレート 21 には、ガイド溝 5 に規制されるガイド突起 28 は設けなくても良い。

【0021】更に、保持プレート C は、その後部プレート 21 の表面に収納物のセンター孔内に収まるような中

央突起 31 を突設すると共に、この中央突起 31 の周囲に中央段部 30 を設け、収納物が保持プレート C 表面より僅かに浮いて、収納物の裏面が擦れたりせず、保護できるように形成してあっても良い。すなわち、保持プレート C での収納物の保持状態がより安定的となるように形成してある。また、中央突起 31 によって、段部 24、27 を設けなくても収納物を安定的に保持できるようになる。加えて、保持プレート C には、適宜肉抜孔 32 が設けられて、保持プレート C 自体の軽量化、小型化が図れるように形成されている（図 6、図 9 参照）。

【0022】ところで、収納ケースの具体的構成、形状、寸法、材質、ケース本体の具体的構成、形状、寸法、材質、ケース基盤 A の具体的構成、形状、寸法、材質、底板 1 の具体的構成、形状、寸法、材質、前片 2 の具体的構成、形状、寸法、材質、配設位置、後片 3 の具体的構成、形状、寸法、材質、配設位置、側片 4 の具体的構成、形状、寸法、材質、配設位置、ガイド溝 5 の具体的構成、形状、寸法、配設位置、軸孔 6 の具体的構成、形状、寸法、配設位置、ケース蓋体 B の具体的構成、形状、寸法、材質、天板 10 の具体的構成、形状、寸法、材質、側片 11 の具体的構成、形状、寸法、配設位置、軸突起 12 の具体的構成、形状、寸法、配設位置、軸孔 13 の具体的構成、形状、寸法、配設位置、保持プレート C の具体的構成、形状、寸法、材質、前部プレート 20 の具体的構成、形状、寸法、材質、後部プレート 21 の具体的構成、形状、寸法、材質、ヒンジ部 22 の具体的構成、形状、寸法、材質、切欠部 23 の具体的構成、形状、寸法、段部 24 の具体的構成、形状、寸法、配設位置、数、押え片 25 の具体的構成、形状、寸法、配設位置、軸突起 26 の具体的構成、形状、寸法、配設位置、段部 27 の具体的構成、形状、寸法、配設位置、数、ガイド突起 28 の具体的構成、形状、寸法、配設位置、数、中央段部 30 の具体的構成、形状、寸法、配設位置、中央突起 31 の具体的構成の具体的構成、形状、寸法、配設位置、肉抜孔 32 の具体的構成、形状、寸法、配設位置等は、図示例のもの等に限定されことなく適宜自由に設定、変更できるものである。

【0023】本発明の収納ケースは、前述の如く構成されており、次にその使用例について説明すると、まず、収納ケース内の収納物を取り出す場合は、ケース蓋体 B の他端がわを上方に移動させるようにしてケース蓋体 B を揺動させる。すると、保持プレート C の一端がわが若干上方に持上げられながら、保持プレート C 全体が一端がわに僅かに移動する。このとき、保持プレート C のガイド突起 28 は、ケース基盤 A のガイド溝 5 内を一端がわに移動する。それから、ケース蓋体 B を更に揺動すると、前部プレート 20 がケース基盤 A の前片 2 上端部に当接し、この当接部分が支点となって、他端がわがケース基盤 A から離れるように前部プレート 20 及び収納物が揺動する。このとき、後部プレート 21 は、ヒンジ部

22を介して前部プレート20に対して屈曲状に揺動し、前部プレート20の押え片25部分で保持されている収納物は、その他端がわが後部プレート21から離れるように斜上方に突出した状態となり（図3参照）、収納物が容易に取出せるようになる。

【0024】一方、収納物を収納ケース内に収納する場合は、収納物が押え片25と前部プレート20表面との間に収まると共に、収納物の外周が段部24に当接するように、収納物を前部プレート20に保持させる。このとき、切欠部23を設けてあることにより、押え片25下面がわへの収納物の差込み角度が、押え片25に対して平行でなくても容易に収まるようになる。それから、ケース蓋体Bでケース基盤Aの開放孔部分を施蓋するようにケース蓋体Bを揺動させる。すると、前部プレート20の他端がわがケース基盤Aの底板1に接近するように揺動して、収納物が後部プレート21の表面に載置される（或いは、収納物のセンター孔孔縁部分が中央段部30表面に載置される）と共に、収納物の外周が段部27に当接する（或いは、収納物のセンター孔に中央突部31が収まる）ようになる。次に、ケース蓋体Bを更に揺動すると、保持プレートC全体が他端がわに移動する。このとき、保持プレートCのガイド突起28は、ケース基盤Aのガイド溝5内を他端がわに移動する。そして、ケース蓋体Bを揺動せしめて、ケース基盤Aの開放部分を施蓋すると、保持プレートCの一端がわが若干下方に下げられて、保持プレートCがケース本体内に収まるようになる。

【0025】

【発明の効果】従って、請求項1記載の収納ケースは、ディスク状記録担体D等の比較的薄い収納物を収納可能な収納ケースであって、上部が開放されている略浅底容器状に形成されるケース基盤Aと、このケース基盤Aの一端がわに適宜枢支手段を介して揺動自在に装着されると共に、その揺動動作によってケース基盤Aの開放部分を施蓋可能となるよう形成されるケース蓋体Bとでケース本体を構成し、このケース本体内に収納可能となると共に収納物を保持可能となるよう形成される保持プレートCを、適宜枢支手段を介してケース蓋体Bの一端がわに揺動自在に装着し、保持プレートCは、一端がわの前部プレート20と、他端がわの後部プレート21と、前部プレート20と後部プレート21を折曲げ自在に連設するヒンジ部22とを備え、前部プレート20は、収納物を保持できるように形成され、ケース基盤Aに対するケース蓋体Bの揺動動作に連繋して、保持プレートC全体が一端がわに移動した後、その他端がわがケース基盤Aから離れるように前部プレート20が揺動すると共に、後部プレート21が前部プレート20に対して屈曲状に揺動して、前部プレート20に保持されている収納物の他端がわから後部プレート21が離れるように構成したので、ケース基盤Aから離れるようにケース蓋体B

を揺動せしめるだけで、保持プレートC全体が一端がわに移動してから、前部プレート20が収納物と共に起き上がるように揺動するようになる。このとき、後部プレート21は、前部プレート20に対して屈曲状に揺動するため、前部プレート20に保持されている収納物から離れるようになり、収納物を掴み易くなり、その取出しが簡単に行えるようになる。

【0026】一方、収納物を収納ケースに収納するときには、収納物を前部プレート20に保持させてから、ケース基盤Aに接近するようにケース蓋体Bを揺動せしめるだけでよく、収納物を前部プレート20に保持させ易いと共に、その収納が簡単に行えるようになる。

【0027】すなわち、ケース蓋体Bの揺動操作だけで収納物の出し入れがスムーズに行えるようになり、取扱い易く、使い勝手の優れた収納ケースとなる。しかも、構成簡素で、量産に適し、製造し易く、組立て容易で、低廉で、耐久性に優れ、経済的な収納ケースとなる。

【0028】また、請求項2記載の収納ケースは、保持プレートCの後部プレート21の左右側縁にガイド突起28を夫々突設し、このガイド突起28が移動可能となるガイド溝5をケース基盤Aの左右側片4に設けたので、後部プレート21の他端部分を確実に案内できるようになり、ケース蓋体Bの揺動操作による前部プレート20に対する後部プレート21の屈曲状の揺動動作等が確実に行えるようになる。特に、後部プレート21の他端部分が上下方向等に勝手に移動するようなことがなくなり、保持プレートCの損傷等も防止できるものとなる。

【0029】更に、請求項3記載の収納ケースは、保持プレートCの前部プレート20と後部プレート21の表面に収納物の外周縁に当接する段部24、27を形成し、前部プレート20の一端がわ中央に、収納物の表面に当接する押え片25を突設したので、保持プレートCでの収納物の保持状態が安定的となると共に、収納物を保持プレートCに保持させたり、収納物を保持プレートCから取外したりする操作が、収納物を損傷することなく誰でも容易に行えるようになる。

【0030】そして、請求項4記載の収納ケースは、保持プレートCの後部プレート21の表面に収納物のセンター孔内に収まるような中央突部31を突設したので、保持プレートCでの収納物の保持状態がより安定的となる。しかも、中央突部31によって、段部24、27を設けなくても収納物を安定的に保持できるようになるため、保持プレートC自体をより小さく且つ軽量に形成できるようになる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の収納ケースを例示する分解斜視図である。

【図2】本発明の収納ケースを例示する縦断面図である。

【図 3】本発明の収納ケースを例示する縦断面図である。

【図 4】本発明の収納ケースを例示する一部切欠平面図である。

【図 5】本発明の他の収納ケースを例示する一部切欠平面図である。

【図 6】本発明の他の収納ケースを例示する分解斜視図である。

【図 7】本発明の他の収納ケースを例示する縦断面図である。

【図 8】本発明の他の収納ケースを例示する縦断面図である。

【図 9】本発明の他の収納ケースを例示する一部切欠平面図である。

【符号の説明】

A ケース基盤

1 底板

3 後片

2 前片

4 側片

5 ガイド溝

B ケース蓋体

10 天板

12 軸突起

C 保持プレート

20 前部プレート
プレート

22 ヒンジ部
部

10 24 段部
片

26 軸突起

28 ガイド突起

30 中央段部

突部

32 肉抜孔

D 記録担体

6 軸孔

11 側片

13 軸孔

21 後部

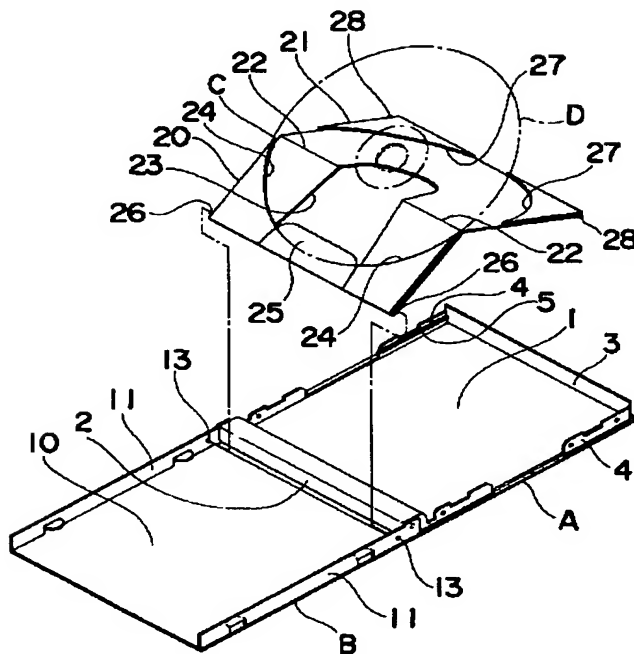
23 切欠

25 押え

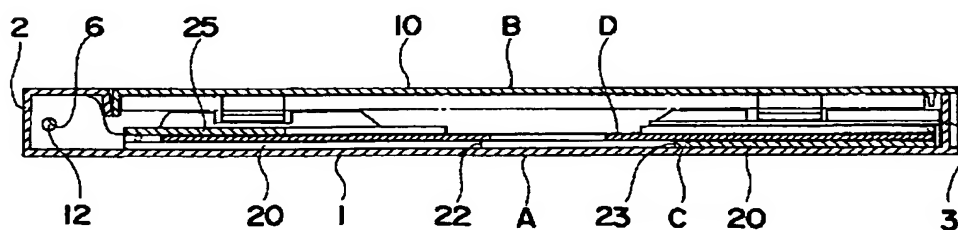
27 段部

31 中央

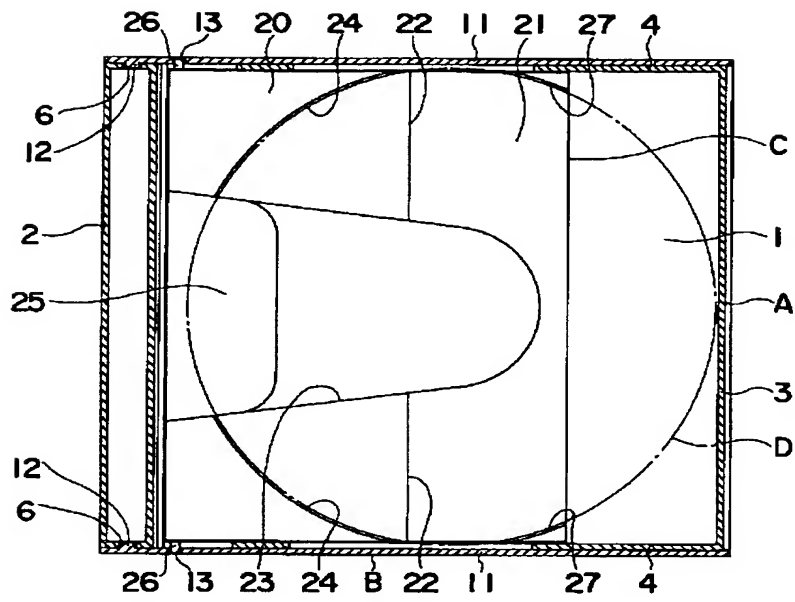
【図 1】



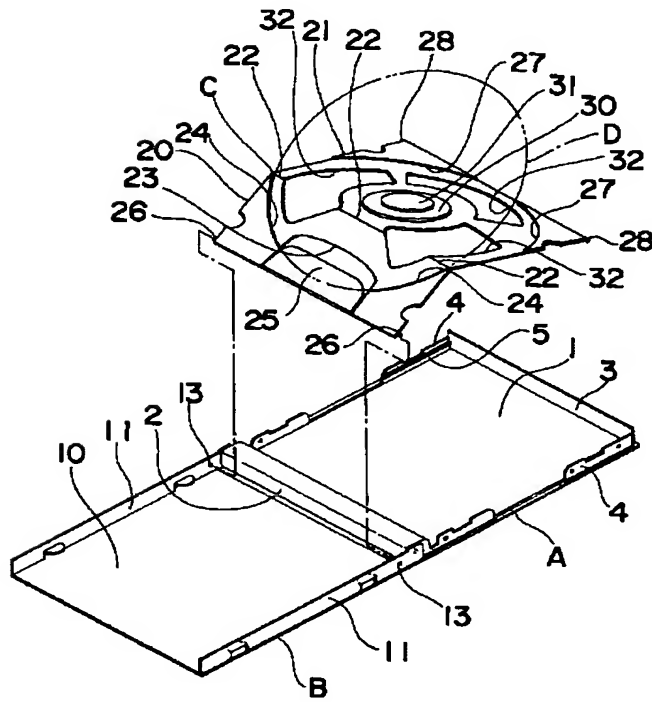
【図 2】



【図 5】



【図 6】



THIS PAGE BLANK (USPTO)